

令和3年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立山澄中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-31-3366			氏名	辻 義孝
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	○服務規律の意識高揚 ○交通法規の遵守 ○飲酒運転の根絶 ○セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の未然防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 年度当初の学校経営説明の中で、校長が不祥事根絶に向けての思いを語り、不祥事の根絶に向けて全職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組であった。 3 教学第18号について、回覧するとともに、職員会議や職員朝会で綱紀の保持について徹底を図った。 職員研修でわいせつ行為に係る事例の紹介、自己分析チェックシートを実施した。具体的な事例を通して、家族や周囲への影響について理解を図ることができた。また、それぞれが抱える問題点をチェックシートで自己分析することで、自己理解につながり、ひいては自己コントロールの強化につながる取組となった。					
7月	実施テーマ	○体罰の防止 ○個人情報セキュリティ対策の徹底 ○飲酒運転の根絶			
<u>取組の評価・改善点</u> 職員研修を通して、部活動、生徒指導における体罰防止に関する留意事項の確認し、複数指導の徹底や個人指導での言葉かけについて共通理解を図ることができた。 また、ICT 機器の活用の中で、個人情報、書類作成の校外持ち出し禁止など情報セキュリティについて確認することができた。 3 教学第465号について、回覧するとともに、職員会議、職員朝会でコンプライアンスの徹底を図った。 定期的に繰り返し伝達する必要がある。					
12月	実施テーマ	○飲酒運転の根絶 ○公金等の不正処理の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 年始・年末の酒席を自粛した。冬季休業前の諸帳簿点検では、複数チェックを基本とし、適正な処理を確認した。 3 教学第499号、3 教学第762号、3 教学第763号については、回覧し周知するとともに、職員会議、職員朝会を通して、コンプライアンスの徹底を図るとともに、3 教学第825号、826号の周知に合わせて再度、その代償や影響の大きさについて共通理解を図った。 体罰根絶にむけた、個々の宣言文の作成をとおして、その代償の大きさについて個々人が考える時間となった。 体罰に強弱はなく、生徒との関係ができ、そのことが気の緩みとなって体罰とならないよう、繰り返し伝達する必要がある。					
2 服務規律委員会					
委員会名	山澄中学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員（9名）、外部委員（4名 役職等：学校評議員）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	キ	ケ							
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない
---------	-----------	------------	-------------

資料添付 有 ・ (無)